

平成28年度 第2号被保険者調査のねらいについて

◆調査対象 新宿区に居住する第2号被保険者（40歳以上65歳未満）（無作為抽出 1,500人）

備考欄の記号：☆…28年度新設または変更 ■…第6期計画の指標に使用されている項目 ×…削除

平成25年度 第2号被保険者調査			平成28年度 第2号被保険者調査			
見出し	平成25年度のねらい	設問番号	見出し	平成28年度のねらい(案)	設問番号	備考
1. ご本人のこと	回答者の基本属性を把握する。	1~4	1. ご本人のこと	【継続】（福祉部地域包括ケア推進課） ※世帯の年間収入についての設問は削除	1~4	
	就労の状況や意欲を把握する。	5			5	
	暮らしの状況を把握する。	6~7			6	
	介護の経験を把握する。	8			7	
3. 健康状態	健康状態を把握する。	11~12	2. 健康状態や健康づくり	【継続】（健康部健康づくり課）	8~9	
				【新規】（健康部健康づくり課） 健康づくりのために早期に取り組んでいることについて把握する。	10~11	☆
	かかりつけ医の有無について把握する。	13		【変更】（健康部健康づくり課） かかりつけ医がない理由について把握する。	12	☆
	歯科受診の状況等について把握する。	14		【削除】（健康部健康づくり課）		×
2. 住まいのこと	現在の住まいの状況を把握する。	9~10	住まいのこと	【削除】（都市計画部住宅課）		×
4. 日ごろの生活	地域とのつながりに関する意識を把握する。	15~16	3. 日ごろの生活	【継続】（福祉部地域包括ケア推進課）	13、16	
				【新規】（福祉部地域包括ケア推進課） 多世代交流の状況及び実際の地域のつながりを把握する。	14~16	☆
5. いきがいづくりや社会参加	いきがい、興味のある地域活動やボランティア活動など参加の有無等、特技や資格を把握する。	17~21	4. 支援を必要とする高齢者を支えるしくみづくり	【継続】（福祉部地域包括ケア推進課）	17~18	
				【新規】（福祉部地域包括ケア推進課） 支援を必要とする高齢者の生活支援ボランティアについての意識などを把握することにより、今後の施策展開の参考とする。	19~22	☆
6. 若年性認知症	若年性認知症に関する理解の促進や、必要な支援について把握する。	22~24	5. 若年性認知症	【継続】（健康部保健予防課）	23~25	
8. 介護や医療が必要になったときのこと	在宅で暮らし続けることの希望および在宅で暮らし続けるために必要なことを把握する。	28~30	6. 在宅療養等	【継続】（健康部健康づくり課）	26~28	
				【新規】（健康部健康づくり課） 在宅療養を困難にするものを把握する。	29	☆

平成25年度 第2号被保険者調査			平成28年度 第2号被保険者調査			
見出し	平成25年度のねらい	設問番号	見出し	平成28年度のねらい(案)	設問番号	備考
10. 看取り	自身の最期の意向について把握する。	34～35	人生の最終段階における医療	【変更】（健康部健康づくり課） エンディングノートの記載経験や、在宅療養を困難にするものについて把握する。	30～32	☆
9. 緩和医療・ケア	緩和医療・ケアの認知度や利用意向について把握する。	31～33	緩和医療・ケア	【継続】（健康部健康づくり課）	33～35	
11. 介護保険制度	保険サービスと保険料の負担についての考えを把握する。	36～37	7. 介護保険制度	【継続】（福祉部介護保険課）	36～37	
7. 権利擁護	成年後見制度の認知度や区の成年後見センターの認知度と利用意向を把握する。	25～27	8. 権利擁護	【変更】（福祉部地域福祉課） 成年後見制度に期待する役割などを把握する。	38～41	☆
12. 情報や相談	高齢者総合相談センターの認知度や機能などを知っているか把握する。	38～40	9. 情報や相談	【継続】（高齢者支援課）	42～44	
				【新規】（高齢者支援課） 高齢者の異変に気付いた際の相談先について把握する。	45	☆
	福祉サービスや健康に関する情報入手手段を把握する。	41～42		【削除】（高齢者支援課）		×
	介護が必要になった場合の相談先について把握する。	43		【継続】（高齢者支援課）	46	